



会社説明資料

株式会社アドダイス



アドダイスが目指す世界

MISSION

人工生命時代の安心安全な暮らしを守るために
本物のAIを提供する

VISION

SoLoMoN AIテクノロジーが、
あらゆるところにセンサーがはりめぐらされ
AIが人に寄り添う人工生命時代の社会基盤となる。

AIと医療に精通し使命感に燃えるチーム



CEO
伊東大輔

広島県出身
東京大学法学部卒業
広島大学デジタルものづくり
教育センター客員教授 (AI)



CTO
Amgalan Ganbat

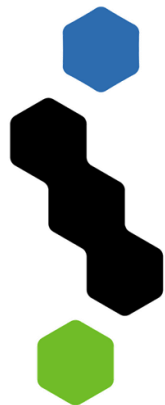
東京大学大学院情報理工学系
研究科電子情報学修士
IBM、ハーバードビジネスス
クール・リサーチアシスタント、MITスローン校データサイ
エンティスト



医療ナビゲーター
大田泰徳

広島県出身
東京大学医学部特任教授。
東京大学医科学研究所病理
診断科科长、検査部部长。

アドダイス基本情報

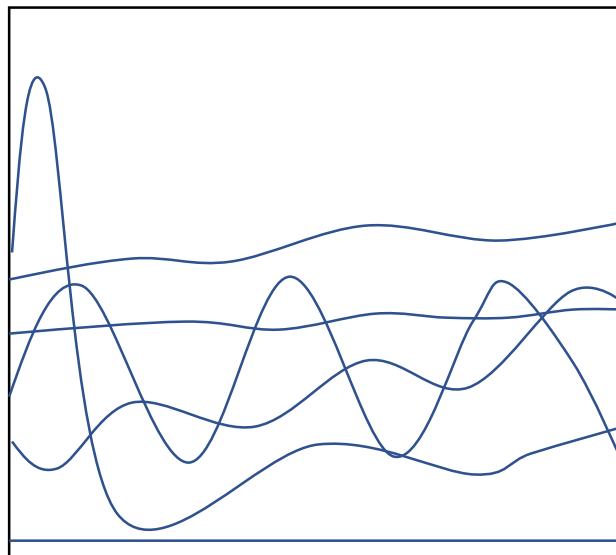
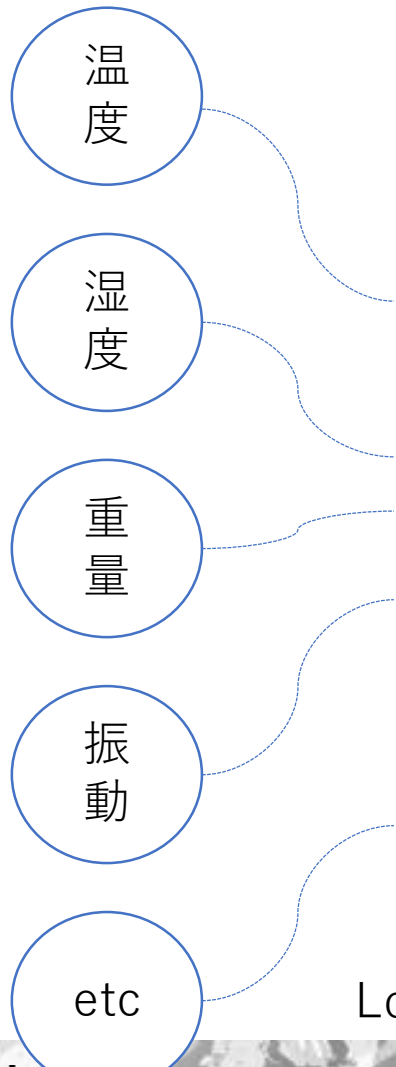


SOLoMoN

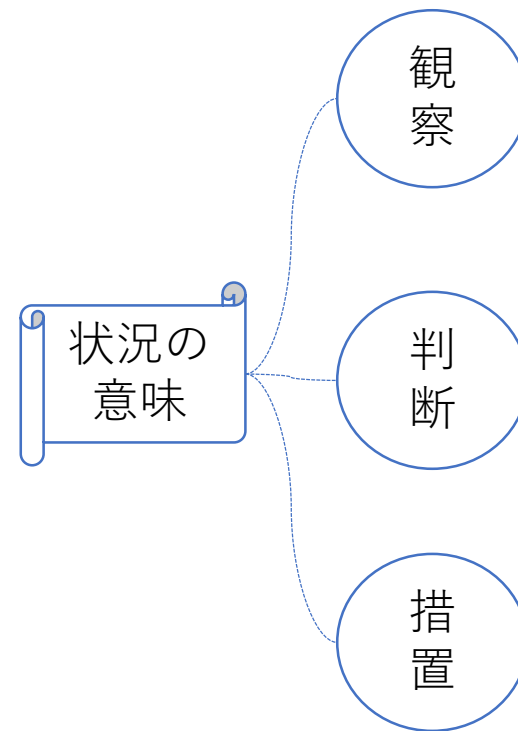
- 会社名 : 株式会社アドダイス
- 代表者氏名 : 伊東 大輔
- 設立 : 2005年
- 本社所在地 : 東京都台東区上野5丁目4番2号 I T秋葉原ビル 1階
- 事業内容 : 人工知能関連サービスおよび導入支援サービス
- 資本金 : 1,500万円
- ミッション : 人工生命時代の安心安全な暮らしを守る
- ビジョン : 本物のAIを必要とする全ての人に届ける
- 知財 : **特許6302954 AIによる自立管理技術を中心に構築**
- SoLoMoN : 人の状況判断や介入というSocialな情報とロケーションやモノの情報をNetworkで結びAIに学習させ、修正が必要なら再学習し、自律的な状況判断と環境管理を実現する技術

IoTにより収集した環境ビッグデータの解釈をカルテアプリを通じてシステムに取り込み人工知能に学習させると同時に、学習済みAIの誤りなど変更したい点をリバイズにより補正し再学習を可能にするというAI時代の基本となる仕組みの特許を取得しています。

1. 環境データの解釈をアプリで登録
2. 時系列/多系列 データからも特徴学習
3. プログラミング無しでAIが使える



五感を総合した
第六感のAI



LocationやMonoのdata ←Networkし人工知能でフィードバック→ 人間系のSocial data

主な受賞歴

KDDI∞Lab8期採択 (BeeSensing)



Microsoft Corporationから世界の有望なAIベンチャーとしてBizSpark Plusの三年間の支援先に採択 (SoLoMoNテクノロジー)



NIDIAからNVIDIA Inception Programに採択 (SoLoMoNテクノロジー)



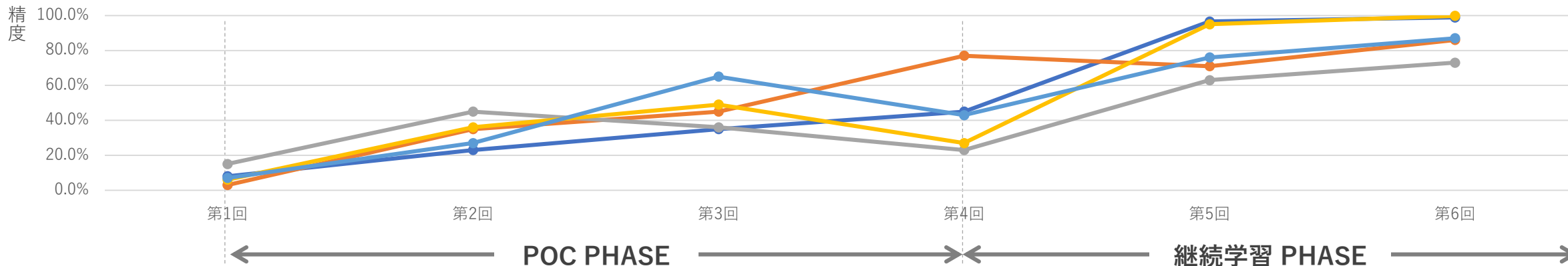
農水省の革新的技術開発・緊急展開事業に採択 (BeeSensing)



Plug and PlayのHardtech & Healthcareに採択 (SoLoMoNテクノロジー)



AI導入の失敗は非言語知識の共有困難さ。現場職人の勘と経験を継続学習する為には、職人自身が教師になることがベスト。



現状の課題

- 現場担当者がすべての知識・勘・経験を言語化できない
- モデリングは限定的となりPOC段階での精度がでない

- 再学習時に現場担当者が勘や経験をデータサイエンティストに説明できない
- よって教師データがいつまでたっても限定的で精度にムラが出る

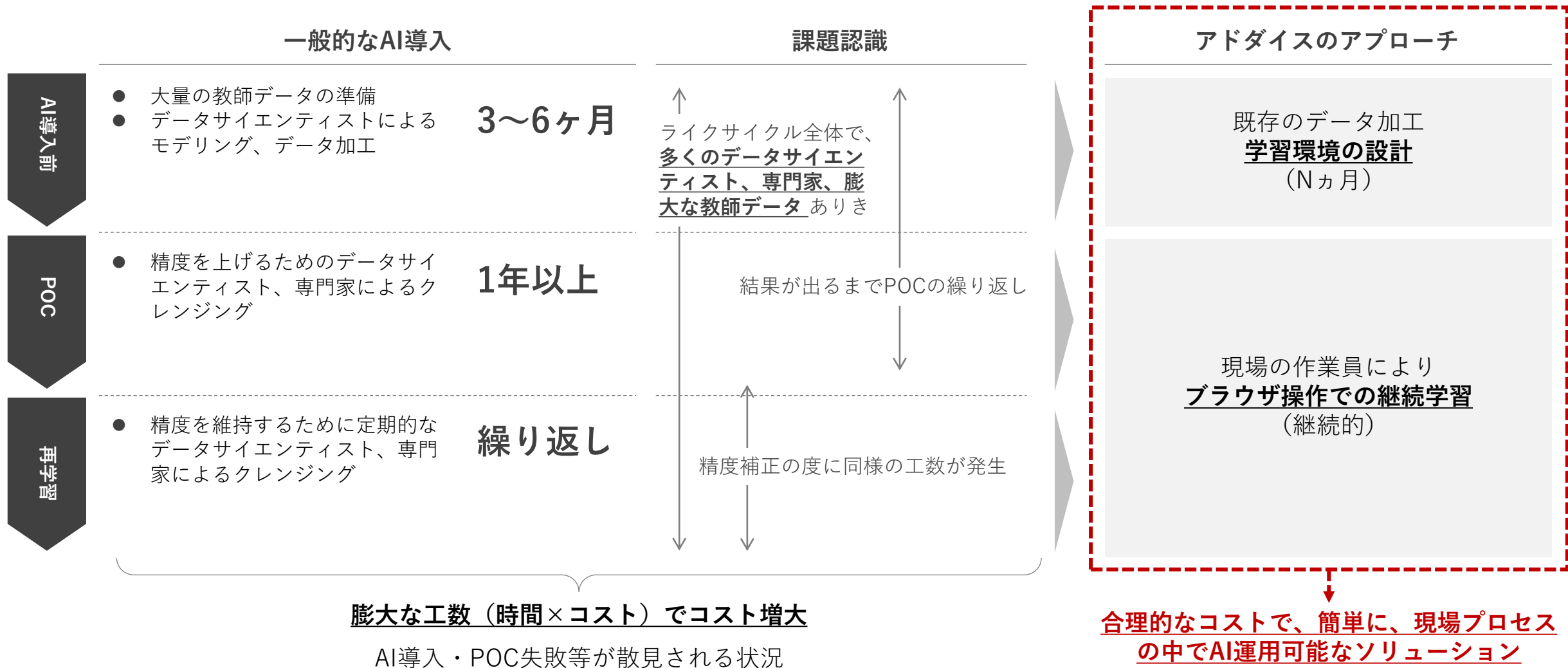
アドダイスが考える解決策

- 現場担当者が普段の作業の延長線でPCブラウザから学習用データを構築できる仕組みを提供
- POC段階では代表的なモデリングのみ実施、早期に現場導入を図る
- 難所はアドダイスがノウハウ支援他、モデル試行錯誤や学習用データ構築の工夫を伝授

- 職人自身が教師となり継続学習を行うことでデータサイエンティストのコストをそもそも発生させない
- 職人自ら自分の勘と経験をAIに自動的に学習させることで現場で自律的なAI運用を可能にする

アドダイスはAIエンジンだけではなく、現場における継続学習を担当者が行うための入出力インターフェースをソリューション化（特許取得技術）

多くはAIと言う名の労働集約的な受託開発。AI市場を拡大するには学習環境整備に着目したソリューション化が不可欠



アドダイスでは「AIを使う」ための環境をソリューション化

SoLoMoN とは?

AIのインターフェースとしてのSocial/Location/Mobility/Mobile/MonoをNetworkすることで
AIのパイプラインを社会と物理環境に直結してデータを自動的に堆積しAIによる環境制御を可能とする技術群



HORUS AI

目視検査工程

画像認識による検査、診断に最適化したUIと画像装置連携APIをパッケージしたソリューション。
工場の検査工程、医療機関での画像診断POCで採用。



SEE GAUGE

施設管理

施設管理向けソリューション。
産業界では世界的に先端的な取り組みとして囲碁ゲームなどで使われている強化学習を採用。
鉄道グループの操業自動化のための仕組みとして採用。



**SoLoMoN device
for Bee Sensing**

生物の状態管理

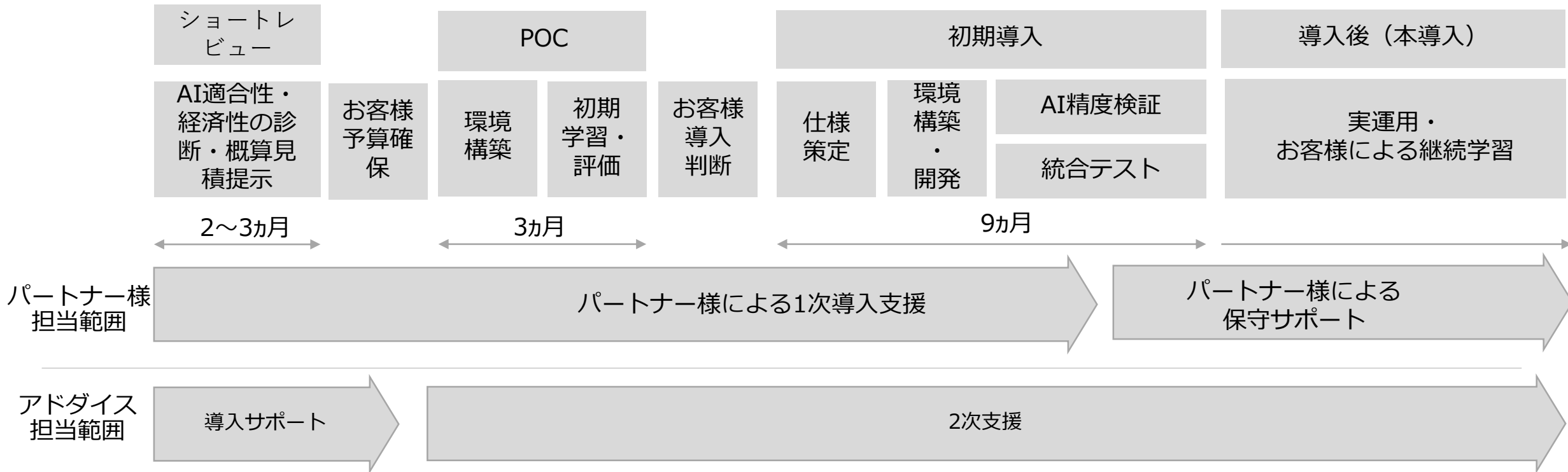
養蜂家から養蜂業向けのシステム開発の依頼を受け、メーカーとして開発・提供しており、農業市場への展開を予定。IoTセンサ機器から収集されるデータをAI解析し作業効率を大幅に効率化

ブラウザやアプリで**学習・評価・運用まで全てが可能なソリューション**のため、
ユーザオペレータが継続的に精度の維持向上できるため、**低コスト、短期間で導入可能**
現場の職人知識を自動的にAIへ学習（※関連特許取得済）

アドダイスのお客様要望のAI化提案のアプローチの特長

- ★アドダイスはAI導入手法を持っており、パートナーによる導入を強かにサポート
- ★お客様が費用対効果を判断し、安心して導入できるアプローチ実施

HORUS AI 導入プロセスの例



導入支援は教育を受けたパートナーが1次対応。アドダイスは2次支援の範囲で対応することでビジネスをレバレッジ